

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年1月22日

【2018年1月13日～2018年1月19日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のブラジル・リアルは対米ドル、対円で小幅に上昇しました。また、2年国債金利は小幅に低下しました。

年金改革法案につきましては、「政府が同法案の採決を2018年10月の選挙後に先送りすることを検討している」との報道がありました。しかし、市場参加者は既に同法案の早期成立が困難であることを相当程度織り込んでおり、ブラジル金融市場では為替、債券ともに小動きとなりました。なお、ルラ元大統領の控訴審に関しましては、特に新たな報道はありませんでした。

1月15日（現地、以下同様）に発表された2017年11月の経済活動指数は、市場予想を上回る前年比2.82%の伸びとなり、ブラジル経済が着実に回復していることが示される結果となりました。

【2】今週の見通し

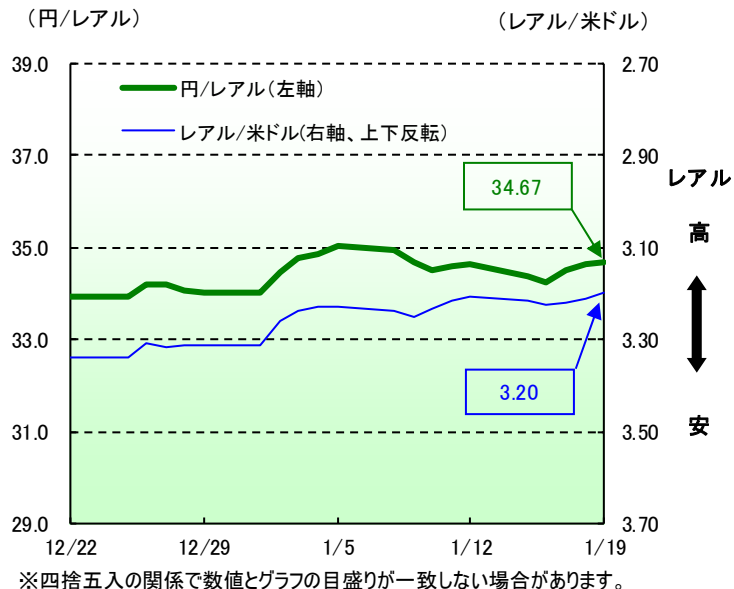
今週の注目材料は、24日に予定されているルラ元大統領の控訴審です。10月に行われる大統領選の候補者のうち、現時点の世論調査で最も高い支持率を有するルラ元大統領は、この裁判の結果次第で大統領選の立候補資格を喪失する可能性があります。

判決につきましては、この裁判を担当する3名の判事が全員一致で、ルラ元大統領を有罪と認め、かつ第一審での判決内容にも同意した場合は、判決後15日以内に禁固刑となる見込みです。一方、判事の判断が分かれた場合（例えば2名が有罪、1名が無罪と判断した場合など）は、新たに3名の判事を加えて控訴審がさらに継続することとなります。この場合、次の判決が出るまで3カ月から7カ月程度の期間を要する見込みで、この間ルラ元大統領の立候補資格は引き続き有効となります。

ブラジル金融市場は構造改革に否定的な立場のルラ元大統領が大統領選に出馬できない可能性がある程度織り込んでいるとみられ、無罪あるいは前述のように判事の判断が分かれた場合には、為替・債券ともに下落することも想定されます。判決は24日の市場引け後に発表される予定ですが、翌25日のブラジルは休場となるため、現地の反応が確認できるのは26日となる見込みです。

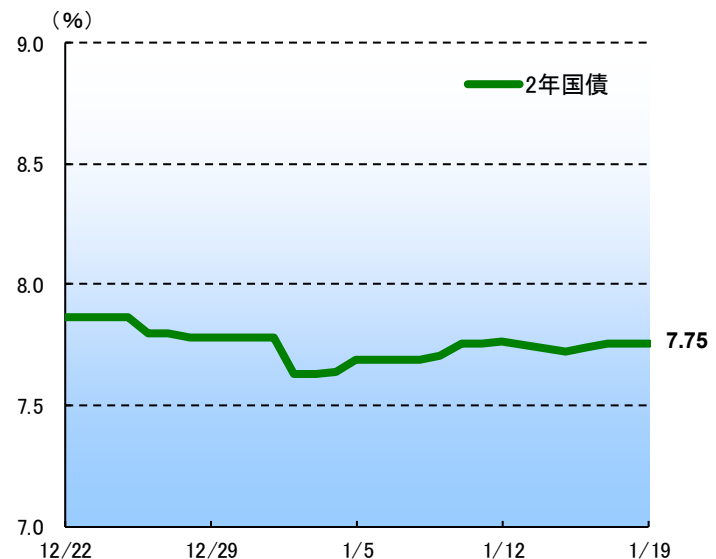
【ブラジル・リアル 為替推移】

（2017年12月22日～2018年1月19日）



【ブラジル 金利推移】

（2017年12月22日～2018年1月19日）



（出所：ブルームバーグより大和投資信託作成）

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>